

盛岡競馬場

絶景南部片富士を望む緑鮮やかな競馬場。

高低差約4mのコースはスタミナが鍵となるレースを展開。

毎年、秋には地方ダート界のマイル王決定戦

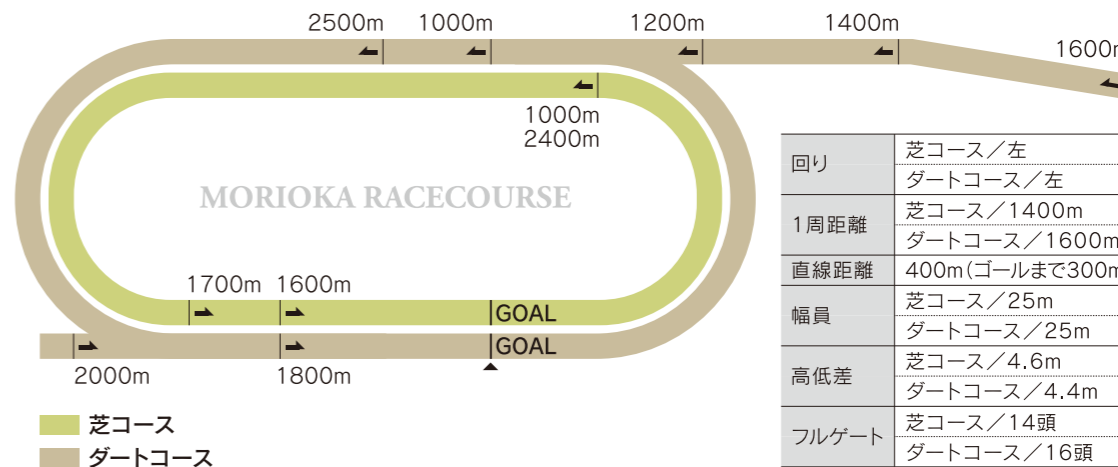
「マイルチャンピオンシップ南部杯[JpnI]」を開催しています。



コース紹介

Course introduction

1周1600mのダートコース、1400mの芝コースを持っています。地方競馬場で芝コースも併設するのは盛岡競馬場だけです。芝・ダートとも幅員25m、直線の長さは約400m。また、芝・ダートともコース全体の高低差が約4mあり、地方競馬としては珍しい大きな高低差を持つコースとなっています。



競馬場紹介

Racecourse introduction

かつて盛岡競馬場が盛岡市内・上田地区にあった頃(先々代になります)、競馬場のそばに湧いていた『黄金清水』にちなんで黄金競馬場と呼ばれていたことがありました。高松の旧競馬場を経て現在地に移転する際、かつての愛称を復活させ、スペイン語で金の意味になる「ORO」をいただくことにしたので、盛岡競馬場は「OROパーク」と呼ばれています。

芝コース



地方競馬唯一の芝(ターフ)コースです。直線の坂がゴール前の激戦を生み出します。

巨大馬像



入場門を抜けると出迎えてくれる巨大馬像。この馬像はエミール=アントワーン=ブルデルというフランスの有名な彫刻家が約100年前に造った作品です。正面から馬像を見ると、スタンド全体がペガサスの羽根のように見えます。ぜひご自分の目で確かめてください。

クラブハウス



スタンド4FにあるVIPサービスを満喫できる会員制のクラブハウス。年会費3000円で、1日3000円で利用できます。お弁当と予想紙の無料提供から、テラス席からの贅沢な眺めまで、その全てのサービスがセレブ級。競馬を愛する紳士・淑女の皆さんにぴったりな空間です。

アトリウム



スタンドの中には、大型モニターでゆったりと観戦できるアトリウムがあります。イベント掲示板も設置されており、情報収集の拠点となります。

芝生広場



4コーナー側のスタンド横には子供用遊具やアスレチックなどがある芝生広場があります。さらに奥には、「沈床庭園」があり、四季の移ろいを楽しめます。



盛岡競馬場周辺おすすめスポット

Welcome to MORIOKA!

満喫しなきゃもったいない! 雄大な自然と遊びが充実の競馬場周辺おすすめ観光スポットとご当地グルメのご紹介です。



盛岡城跡公園
岩手県盛岡市内丸



南部藩主の居城であった盛岡城の旧跡です。北上川、雫石川、中津川を自然の壕に利用した平城で、不來方城(こずかたじょう)とも呼ばれました。現在は石垣や池が残り、盛岡城跡公園(もりおかじょうあとこうえん)として四季を通して市民に親しまれています。

JR盛岡駅からバスで5分

石割桜
岩手県盛岡市内丸9-1



周囲21メートルの巨大な花崗岩を割ってエドヒガンザクラが伸びています。根回り4.3メートル、高さ10メートルで、樹齢360年を越えると言われているこの桜は、毎年4月中旬頃からきれいに花を咲かせます。

JR盛岡駅からバスで10分

岩手銀行赤レンガ館
岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目2-20



東京駅を設計したことで知られる辰野金吾・葛西萬司建築事務所的设计による洋風建築物(旧盛岡銀行)です。赤煉瓦造りに緑のドーム、ルネッサンス風の輪郭は、中津川や中の橋と一体となって盛岡の代表的な景観を形成しています。

JR盛岡駅からバスで15分

櫻山神社
岩手県盛岡市内丸1-42



創建は1749年。社殿が盛岡城三の丸跡にあり、南部藩の総鎮守として信仰されました。また、烏帽子岩と呼ばれる巨石があることでも有名です。例大祭は5月25~27日に開催され、武者行列や伝統芸能の奉納などが行われます。

JR盛岡駅からバスで10分

啄木新婚の家
岩手県盛岡市中央通三丁目17-18



明治38年、新婚の石川啄木・節子夫婦が啄木の父母、妹とともに3週間ほど暮らした住居。随筆「我が四畳半」にこの頃のことを書かれています。

JR盛岡駅からバスで5分

上の橋
岩手県盛岡市上ノ橋町



上の橋は南部藩主利直公が盛岡城を築くと同時に中津川に架けた橋です。欄干を飾る青銅製の擬宝珠のうち、慶長14年(1609)の銘が刻まれているものが8個、慶長16年(1611)の銘が刻まれているものが10個あります。これほど多数残っているのは大変珍しく、昭和20年、国の重要美術品に指定されました。

JR盛岡駅からバスで10分

盛岡競馬場 基本データ



盛岡市街から約20分、山を登り切ったところに現れる、広大な敷地を持った緑あふれる競馬場。南部杯など大レースの開催地であり、幾多の名勝負を生み出してきました。



[主催者] 岩手県競馬組合
[所在地] 岩手県盛岡市新庄字上八木田10
TEL 019-651-2999
<http://www.iwatekeiba.or.jp/>

[電車・バス] JR盛岡駅から無料優待バス(所要時間35分)
※JR盛岡駅バスターミナル8番乗り場
[車] 東北自動車道盛岡南I.C.から25分
JR盛岡駅からタクシーで20分
(無料駐車場 約3000台分)

04 Racecourse

MIZUSAWA

水沢競馬場

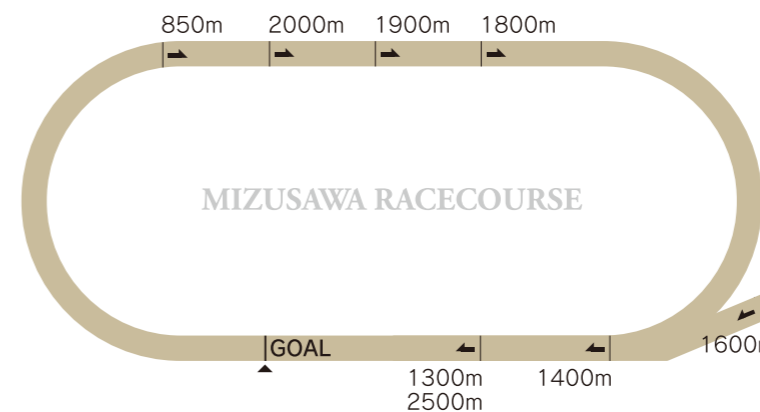
正面に匂い優しい北上川、右に義経伝説の束稲山、左に神楽の里・早池峰山を眺望できる美しい競馬場。右回り1周1,200mのフラットコースが名勝負の舞台です。



コース紹介

Course introduction

1周1200m、高低差が0mの右回りコースであり、広く起伏に富んだ左回りの盛岡競馬場とは対照的といえるコースです。



回り	右回りコース
1周距離	1200m
直線距離	200m
幅員	20m
高低差	平坦
フルゲート	12頭

競馬場紹介

Racecourse introduction

スタンドやパドックなどにレトロな雰囲気が残る競馬場です。現在も手書きの出走馬確定板が健在です。春になると競馬場に隣接するソメイヨシノ150本の桜並木が一般公開されます。

スタンド3階指定席



スタンド3階の指定席は、コース全周を遮るものがなく、広く見渡せます。北を見れば早池峰山、西を見れば焼石岳や栗駒山、南を見れば義経伝説に縁ある束稲山、東を見れば宮沢賢治が愛した種山ヶ原などの有名な山々の展望が開けています。

テトラック水沢



テトラック水沢には大型モニターによるシアター型観戦エリアがあります。コースサイドにもすぐに出る事ができますので、お好みのスタイルでレースをお楽しみください。

クラブハウス



テトラック3階の会員制クラブハウスです。タラリア席では大画面で競馬を観戦できます。くつろぎの空間をお楽しみください。

出走馬確定板



パドックにある手書きの出走馬確定板です。以前は全国の競馬場で見ることができましたが、最近は電光表示や液晶表示に変わった所が多いため、とても貴重な存在と言えます。

宝(トレジャー)神社



水沢競馬場南広場の一角に行む神社です。奥州市内にある陸中一宮駒形神社の正式な分社です。馬券必勝祈願のみならず、家内安全・商売繁盛・受験合格・恋愛成就などを祈願してみてもいかがでしょうか。水沢競馬場においての際はぜひお立ち寄りください。

- 01 帯広 OSHIRO
- 02 門別 MONBETSU
- 03 盛岡 MORIOKA
- 04 水沢 MIZUSAWA
- 05 浦和 URUWA
- 06 船橋 FUNABASHI
- 07 大井 OSAI
- 08 川崎 KAWASAKI
- 09 金沢 KANAZAWA
- 10 笠松 KASUMATSI
- 11 名古屋 NAGOYA
- 12 園田 SONODA
- 13 姫路 HIJIKATSU
- 14 高知 TAKUSHI
- 15 佐賀 SAGA



水沢競馬場周辺おすすめスポット

Welcome to MIZUSAWA!

岩手県南の雄大な自然や歴史ロマンあふれる観光スポットをご紹介します！



歴史公園えさし藤原の郷
岩手県奥州市江刺区岩谷堂字小名丸86-1



奥州藤原氏の歴史と文化が体感できる、平安時代をテーマにした歴史公園です。園内では、時代衣裳着付体験、弓矢体験、鎧体験など平安時代の体験が満喫出来ます。常設展示として、トリックアート「平安の館」も人気のアトラクションとなっています。

JR水沢江刺駅から車で15分

焼石岳 つぶ沼登山口:
岩手県奥州市胆沢区若柳地内(国道397号線沿い)
つぶ沼キャンプ場付近



栗駒国立公園の北の一角を占め、1,000m以上の山が13座ある焼石連峰。標高1,548mの焼石岳は、この山地の盟主です。県内では最も残雪が多く、随所に湿原、池塘が発達しています。生育する高山植物は300種以上といわれ、植生も多彩。登山コースは、中沼コース、つぶ沼コースのほか、夏油温泉をベースに、経塚山を経由して焼石岳に至る縦走コースがあります。冬期間は登山口へ向かう国道397号が閉鎖になります。【山開き】6月第一日曜日

東北自動車道水沢I.C.から車で1時間

正法寺 (曹洞宗大梅拈華山円通)
岩手県奥州市水沢区黒石町字正法寺129



貞和4年(1348)に無底良韶によって開基され、かつては、永平寺、総持寺と並び曹洞宗第3の本山。現在においても厳格な修行が行われており、境内は厳肅な雰囲気にも包まれています。蛇紋岩の石段と720坪の本堂の茅葺き屋根は圧巻です。また、本堂、庫裏、惣門は重要文化財です。平成18年9月に10年を超す大改修を終え往時の雰囲気が見えよみがえりました。

東北自動車道水沢I.C.から車で35分

天台宗妙見山 黒石寺
岩手県奥州市水沢区黒石町山内17



奈良時代天平元年(729)に行基菩薩によって開基されたと伝えられ、東光山薬師寺と称しておりましたが焼失。その後、嘉祥2年(849)慈覚大師が復興した天台宗の古刹。国指定重要文化財の本尊「薬師如来坐像」は、日本で唯一の貞観銘仏で貞観4年の銘があります。また、旧暦正月7日の夜から翌朝にかけて、災厄払い、五穀豊穡を祈願して、裸の男と炎のまつり「黒石寺蘇民祭」が行われます。

東北自動車道水沢I.C.から車で30分

種山高原
岩手県奥州市江刺区米里字大畑66-21
(種山高原星座の森)



「種山高原」は岩手県奥州市(江刺区)・遠野市・住田町にまたがるなだらかな高原。物見山(871m)や立石(730m)からは奥羽の山々や北上平野が一望でき、高原にある種山牧場では牛等を放牧しています。立石には宮沢賢治の「種山ヶ原の雲の中で刈った草はどごさおいだが忘れぬ雨ふる」の碑が建っています。6月中旬レンゲツツジの群生が見事です。

東北自動車道水沢I.C.から車で40分

水沢競馬場 基本データ



奥州市水沢区の中心市街から約10分、北上川の近くにあります。11月にはダービーグランプリ、12月には桐花賞が行われます。



【主催者】岩手県競馬組合
【所在地】岩手県奥州市水沢区姉体町字阿久戸1-2
TEL 0197-23-2999
<http://www.iwatekeiba.or.jp/>

【バス】JR水沢駅東口から無料優待バス(所要時間15分)
【車】東北自動車道水沢I.C.から15分
※駐車場は近隣の民間駐車場をご利用ください。

03.04 Racecourse MORIOKA・MIZUSAWA JOCKEY'S FILE

盛岡・水沢競馬所属騎手

盛岡・水沢競馬
騎手・調教師
2017年 勝利数ベスト5

第1位	211勝	山本 聡哉
第2位	167勝	村上 忍
第3位	132勝	山本 政聡
第4位	113勝	高松 亮
第5位	102勝	菅原 俊吏

第1位	94勝	櫻田 康二
第2位	93勝	板垣 吉則
第3位	76勝	櫻田 浩樹
第4位	65勝	村上 実
第5位	62勝	千葉 幸喜



HIDETOSHI ABE
阿部 英俊
[佐々木 由則/秋田県出身]

- ▶ 1973年3月5日生
- ▶ 1992年10月24日初騎乗
- ▶ 14,848戦1,647勝



YUICHI SAITO
齋藤 雄一
[小西 重征/新潟県出身]

- ▶ 1984年9月15日生
- ▶ 2002年4月20日初騎乗
- ▶ 9,465戦1,035勝



YURI TAKAHASHI
高橋 悠里
[鈴木 七郎/岩手県出身]

- ▶ 1987年4月14日生
- ▶ 2005年4月16日初騎乗
- ▶ 7,367戦603勝



MASATOSHI YAMAMOTO
山本 政聡
[櫻田 浩樹/岩手県出身]

- ▶ 1985年6月28日生
- ▶ 2003年4月19日初騎乗
- ▶ 9,269戦1,032勝



REI IWAMOTO
岩本 怜
[三野宮 通/千葉県出身]

- ▶ 2001年3月28日生



YUICHI SAKAGUCHI
坂口 裕一
[村上 昌幸/神奈川県出身]

- ▶ 1983年5月6日生
- ▶ 2003年4月19日初騎乗
- ▶ 6,843戦662勝



RYO TAKAMATSU
高松 亮
[佐藤 雅彦/岩手県出身]

- ▶ 1986年6月30日生
- ▶ 2004年4月18日初騎乗
- ▶ 10,661戦1,031勝



MAKOTO OTSUBO
大坪 慎
[橋 友和/神奈川県出身]

- ▶ 1978年6月12日生
- ▶ 2000年4月15日初騎乗
- ▶ 7,460戦375勝



SHUNRI SUGAWARA
菅原 俊吏
[伊藤 和/岩手県出身]

- ▶ 1981年4月28日生
- ▶ 2007年4月8日初騎乗
- ▶ 7,351戦773勝



BUNHO TO
陶 文峰
[菅原 右吉/中国・黒竜江省出身]

- ▶ 1980年10月16日生
- ▶ 2000年4月15日初騎乗
- ▶ 8,207戦583勝



SATOSHI KIMURA
木村 暁
[千葉 博次/宮城県出身]

- ▶ 1982年9月5日生
- ▶ 2002年4月20日初騎乗
- ▶ 6,407戦396勝



TATSUNORI SUGAWARA
菅原 辰徳
[瀬戸 幸一/宮城県出身]

- ▶ 1993年1月28日生
- ▶ 2010年4月17日初騎乗
- ▶ 4,979戦259勝



KAZEN NANGO
南郷 家全
[城地 俊光/岩手県出身]

- ▶ 1977年3月22日生
- ▶ 1995年10月14日初騎乗
- ▶ 11,162戦818勝



NAOKI KIMURA
木村 直輝
[関本 浩司/千葉県出身]

- ▶ 1997年3月15日生
- ▶ 2016年4月16日初騎乗
- ▶ 1,074戦44勝



YU SUZUKI
鈴木 祐
[櫻田 康二/茨城県出身]

- ▶ 1995年6月7日生
- ▶ 2016年4月16日初騎乗
- ▶ 1,236戦80勝



SHINOBU MURAKAMI
村上 忍
[村上 実/岩手県出身]

- ▶ 1977年2月4日生
- ▶ 1994年7月2日初騎乗
- ▶ 17,636戦2,993勝



RYO KOBAYASHI
小林 凌
[板垣 吉則/栃木県出身]

- ▶ 1996年10月2日生
- ▶ 2015年4月18日初騎乗
- ▶ 1,736戦107勝



ATSUSHI SEKIMOTO
関本 淳
[晴山 厚司/東京都出身]

- ▶ 1965年2月10日生
- ▶ 1982年4月17日初騎乗
- ▶ 18,230戦2,025勝



TOSHIYA YAMAMOTO
山本 聡哉
[佐藤 浩一/岩手県出身]

- ▶ 1988年1月30日生
- ▶ 2005年4月16日初騎乗
- ▶ 8,905戦1,351勝

【プロフィールの見方】 騎手名[所属厩舎/出身地] 生年月日 初騎乗 地方競馬通算成績(2017年12月31日終了時点) ※五十音順

- 01 帯広 OBIHARA
- 02 門別 KADAMATSU
- 03 盛岡 MORIOKA
- 04 水沢 MIZUSAWA
- 05 浦和 URAWA
- 06 船橋 FUNABASHI
- 07 大井 OI
- 08 川崎 KAWASAKI
- 09 金沢 KANAZAWA
- 10 笠松 KASUMI
- 11 名古屋 NAGOYA
- 12 園田 SONOMATSU
- 13 姫路 HIMEJI
- 14 高知 TAKOKI
- 15 佐賀 SAGA

2017 ヤングジョッキーズシリーズの ファイナルに名を連ねた7名の若武者

若手騎手同士の戦いのなかで、巡ってきたチャンスをつかみ取る！



鈴木 祐
[岩手]

2016年4月の初騎乗を7番人気馬で勝利。昨年の日本プロスポーツ大賞新人賞を受賞した。
「ひとつでも上の着を狙います」



保園 翔也
[浦和]

激戦区の南関東でデビューした2016年に33勝。他地区への遠征経験も多い。
「毎日乗せてもらってきた経験をいかしたい」



白井 健太郎
[船橋]

1年目は4勝、2年目が7勝、3年目の昨年は15勝と着実に成長している。
「ミスのないよう、しっかり騎乗していきたい」



中越 琉世
[川崎]

初勝利まで半年を要したが、2年目の昨年は高知で34勝、南関東で4勝を挙げた。
「直線で差してくるところを見てほしい」



栗原 大河
[金沢]

1年目と2年目は金沢で10位以下だったが、昨年は7位で通算100勝も達成。
「ファンに名前を覚えてもらえるように」



渡邊 竜也
[笠松]

昨年4月の初騎乗から年末までに37勝。トライアルラウンドでは2勝を挙げた。
「勝負強さを見せたいと思います」



加藤 聡一
[愛知]

1年目に56勝、2年目の昨年は72勝。今年1月の「全日本新人王争覇戦」で優勝。
「積極的な騎乗で最後まで諦めず」

ヤングジョッキーズシリーズとは…

2017年に始まった「負担重量の減量を受けている地方競馬所属騎手」と「JRA所属の見習騎手」に出場資格がある、年間を通した騎手交流戦。地方競馬は北海道・東北・南関東および西日本、JRAは東日本と西日本に分かれて戦い、レースごとに得たポイントの合計を騎乗数で割ったポイントをもとに選ばれた合計14名が、年末に大井競馬場と中山競馬場で行われる「ファイナルラウンド」に進出できる。

ヤングジョッキーズシリーズは 西日本地区からスタート！

多くの騎手は慣れていない競馬場が舞台。感覚を鋭くして勝負へと挑む

トライアルラウンド 高知

少ない経験を糧にした JRA所属騎手が上位に



初年度のヤングジョッキーズシリーズの幕開けは高知から。若手同士の騎手交流戦といえば、同じ高知競馬場で行われる「全日本新人王争覇戦」があるが、それは2レースによる1日限りの勝負。こちらは同じ2レースでの戦いでも、ポイント争いは年末まで続く。高知に集まった12名のなかには、その全体像を把握しきれていない騎手がいたかもしれない。加えて当日は雨の不良馬場。馬場の雰囲気もいつもの高知とは違っていた。

その状況のなか、結果を出したのは荻野極騎手(JRA)。厩舎関係者の計らいで第1戦の前に3回も騎乗できたアドバンテージをいかした。

第2戦を制したのも、前半のレースに2回の騎乗があった小崎綾也騎手(JRA)。「新人王のときに落馬してしまいましたから」という小崎綾也騎手(JRA)にとっては、3年越しのリベンジとなった。

トライアルラウンド 笠松

デビューから1か月の渡邊 竜也騎手(笠松)が躍動！

晴天の笠松競馬場に集まったのは地方競馬所属が5名、JRA所属が6名。そのうちJRAの2名は1レースだけの騎乗となる。JRAの騎手は笠松経験がある騎手も多く、また4名が高知に続いての参

戦だったこともあり、レース前はリラックスした雰囲気にあふれた。

それでもレースとなれば話は別。しかしそのなかで輝きを見せたのが、デビューから1か月少々、初勝利から2週間弱で通算1勝という、渡邊竜也騎手(笠松)だった。第1戦は2番手から早めに先頭に立ち、2着馬とはアタマ差ながらも押し切り勝ち。続く第2戦は単勝8番人気馬で6着だったが、自厩舎で騎乗経験がある馬に乗れたという幸運がいきた形になった。

逆に、第2戦を制した富田暁騎手(JRA)は、この日が地方競馬での初騎乗。その2戦目で勝利を飾ったことは、大きな自信になったことだろう。



左/富田暁騎手(JRA) 右/渡邊竜也騎手(笠松)

トライアルラウンド 名古屋

地方競馬所属騎手が 2戦とも勝利！

笠松に続き、名古屋も地方競馬所属が5名でJRA所属が6名で実施され、JRAの2名は1レースずつ。しかし1レースだけ参加の加藤祥太騎手(JRA)の騎乗馬が出走取消になってしまった。

そのため9頭立てで行われた第1戦は、地元所属の加藤聡一騎手(愛知)が後方から一気の差し脚を繰り出して勝利。その競馬場に慣れていない騎手が多く参加するレースは流れが速くなることしがしばしばあるが、この第1戦はまさに典型例。そのなかで勝利に導くことができたのは、地元での経験数の違いが大きな要因といえるのかもしれない。

第2戦は断然人気馬に騎乗した松木大

地騎手(高知)が完勝。しかしながら2着には小崎綾也騎手(JRA)騎乗の最低人気馬が食い込み、JRA所属の意地を見せた。



左/加藤聡一騎手(愛知) 右/松木大地騎手(高知)

トライアルラウンド 佐賀

森裕太郎騎手(JRA)が連勝 で60ポイントを獲得！

佐賀は地方競馬所属とJRA所属から各6名が参加。第1戦は断然人気馬に騎乗した坂井瑠星騎手(JRA)が逃げ切りを狙うところを、道中は8番手を追走していた森裕太郎騎手(JRA)が直線一気の末脚で勝利を飾った。

続く第2戦には単勝1.5倍の支持を集める実力上位馬が出走しており、その鞍上を得たのは森裕太郎騎手(JRA)。今度は好位から徐々に進出して直線の入口で先頭に立ち、ゴール前では独走という内容で連勝を飾った。

第1戦は4着までがJRA所属騎手で、第2戦は5着までのうちの4名がJRA所属と圧倒。そのなかで第2戦で3着に食い込んだのは、地元所属の山口以和騎手(佐賀)。「前の2頭が強いのはわかっていたので、ポイントを狙いにいきました」と、地の利をいかした騎乗を見せた。

